

第 4 回 榿原市教育施設再配置検討審議会 会議録

日 時：	令和 3 年 8 月 26 日（木）13：30～15：40
場 所：	大和信用金庫八木支店 3 階第 1 会議室
出席者：	<p>委員 藤原会長、重松委員、天根委員、鶴田委員、榿谷委員、米川委員、尾田委員、辰巳委員、原山委員、堀本委員、森本委員、三田委員、仲嶋委員</p> <p>事務局 事務局：教育長、吉田部長、栗原副部長、太田副部長、吉川課長、吉住課長、上田課長補佐、原田統括調整員、東浦主査、局長大：依田</p>
欠席者	委員 岡田委員、山中委員
資料：	<p>資料 00_本検討審議会の委員名簿（令和 3 年 5 月更新）</p> <p>資料 01_白榿中学校区の再編に係る地元説明の状況</p> <p>資料 02_白榿南小学校・白榿北小学校 再編案について</p> <p>資料 03_再編を進めるにあたっての留意事項</p> <p>資料 04_今後の検討スケジュールについて</p> <p>補足資料 01_本検討審議会への諮問事項と基本的な考え方の整理</p> <p>補足資料 02_学校区別の人口推計・児童数推計の方法</p>
1. 開会	<p>開会挨拶</p> <p>新委員の紹介、資料確認、教育長挨拶</p>
2. 報告	<p>白榿中学校区の再編に係る地元説明の状況について</p>
会長	<p>それでは、これより議事に入ります。まず、白榿中学校の再編に係る地元説明状況について、事務局より報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料説明</p> <p>【資料 01 白榿中学校区の再編に係る地元説明の状況】</p>
会長	<p>前回の審議会から約 1 年間かけて地元説明を実施してきた内容を説明されました。ご意見等、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>再編に関する地元説明を行い、保護者や地域の方の一定の理解をいただいたので本日の審議会を再開したという説明でしたが、地域の方とは、どのような方々を対象として説明をされたのでしょうか。</p>
事務局	<p>保護者に関しては、幼小中の保護者に対して保護者説明会や再編に関するアンケートを実施してきましたが、地域の方に対しては、現時点では白榿連合自治会の役員の方のみの説明となっています。ただし、役員の方から、白榿町の自治会報の広報「しらかし」に白榿南北小学校の再編案を掲載して周知するご提案をいただきま</p>

	<p>したので、今月末には全戸配布をして周知していただく予定をしています。また、来月には、白樫連合自治会の役員会に参加させていただき、役員約70名の方や地域の住民の皆さまに対して、白樫南北小学校の再編案についての説明を行うことを予定しています。</p>
委員	<p>今の説明からすると、現状は地域の代表者のみに説明され、前向きな話で進んでおられると理解していいでしょうか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>審議会の再開についても地域の方は理解されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>白樫連合自治会の役員の方には、審議会の再開する了解をいただいております。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
会長	<p>他にご質問等はないようですので、議事1に移ります。</p>
3. 議事	<p>議事 1) 白樫南小学校・白樫北小学校の再編案について</p>
事務局	<p>資料説明 【資料 02 白樫南小学校・白樫北小学校 再編案について】</p>
会長	<p>事務局からの説明のとおり、令和6年度に白樫南小学校の校地で白樫南北小学校を統合し、その後、令和7年度に白樫北小学校の校地に移転して、改修後の校舎で学校生活を送る、このようなスケジュールを予定されています。また、今後については、地域やPTAと統合に向けた協議を重ねていくとのことでした。ご意見等はいかがでしょう。</p>
委員	<p>2点お伺いします。まず1点目は、統合後のコミュニティ・スクールの扱いについてです。地域とより一体的に連携していくことは、最近の教育動向だと思いますが、現状としてはどのように考えていますか。</p> <p>2点目は、小中連携についてです。幼稚園と小学校の連携については記載されていますが、小中連携についてはどのように考えていますか。特に、今後は小学校でも教科担任制が導入され、他の自治体では義務教育学校等の小中一貫校の議論もされていますが、その点については検討されていますか。</p>

事務局	<p>1点目のコミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校を指し、地域住民や保護者の方々が協議会の委員となり、学校運営に関して意見を述べるができる制度です。コミュニティ・スクールは、魅力ある学校づくりの1つであると認識していますので、これからの統合準備と併せて、十分に検討していきたいと考えています。</p> <p>2点目の小中連携について、今回の白樫南北小学校の再編は、義務教育学校等の小中一貫校ではなく、小学校同士の統合になり、統合校と白樫中学校の距離も離れてしまうこととなります。そこで、ICTを活用して、遠隔で小学校と中学校の児童生徒同士を交流する、もしくは、先生同士の連携を強化する、といったことで小中連携を図っていききたいと考えています。なお、長期的な展望としては、今後も樺原市の教育施設の再編を進めていく中で、義務教育学校も含めた小中一貫校等についても議論を深める必要があると考えています。</p>
会長	<p>コミュニティ・スクールや小中一貫教育については、今後の他の校区の再編にも繋がる話ですが、白樫校区についても、これから具体的な取組の中で議論していく内容だと考えています。</p>
委員	<p>地域内には各種団体があり、再編に伴いそれらをどうまとめていく予定ですか。学校の再編だけを先行して進めるのではなく、並行して地域内の各種団体についても整理しておく必要があると思います。</p>
事務局	<p>各自治会には、自主防災会や人権教育推進協議会、地域福祉協議会等が設置されています。これらは基本、学校単位で構成されており、市からも予算が配当されています。資料にも記載しているとおり、統合に伴い、これらの再編も行う必要があると認識していますので、今後、統合までの約2年間、市の関係部局も含め、地域と十分協議していきたいと考えています。</p>
委員	<p>冒頭の「再編に係る地元説明の状況」では、地域住民にも説明して納得してもらっているように受け取れましたので、説明をされる際は、誤解を与えないよう注意してください。</p>
事務局	<p>今後、説明を行う際は、誤解を与えないよう十分注意します。同時に、今後も引き続き、地域の方と情報共有を図りながら進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>令和6年度の統合校を目指して、今後、行政とともに、学校・PTA・地域が連携して協議していくこととなりますが、検討事項が多いことから、現場の教職員の労働環境が一番懸念されます。現場で学校運営を行いながら、統合準備の検討を行っていくことは大変な労力になります。また、職員を配置すればよいというものでもな</p>

事務局	<p>く、ある程度リーダーシップのある方が必要でしょうし、他の職員に対してきっちり説明できる人材が望ましいと思いますが、今はどのような体制で統合準備を進めていく予定でしょうか。</p> <p>統合準備委員会は、学校・PTA・地域の中から代表者を選んでいただき、会議を重ねていくことを想定しています。選出していただく具体的な人数については、今後、各団体と協議していきませんが、今の想定では、各学校・幼稚園からそれぞれ3人ほど、保護者代表として各学校・幼稚園のPTAからそれぞれ2人ほど、地元から2人ほど選出してもらうことを予定しています。全員で18名ほどの選出になりますが、全員ですべての検討事項を議論するのではなく、総務部会、通学部会、PTA部会などのワーキンググループに細分化して進める予定です。検討事項や資料の作成は教育委員会が事務局として纏めますので、なるべくご負担がないよう配慮して進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>白樫南北小学校の再編案について、基本的には各委員、理解を示されているかと思いますが、他の方々にも十分理解していただけるよう、しっかり進めていただきたいと思います。学校の再配置は、多くの人の理解を前提にしながら進めていくべきであることを、改めて認識していただきますようお願いいたします。</p>
<p>議事 2) 再編を進めるにあたっての留意事項について</p>	
事務局	<p>資料説明</p> <p>【資料 03_再編を進めるにあたっての留意事項】</p>
会長	<p>再編による効果を期待されている意見と、反対に不安を感じられている意見があるなか、再編を進める際には、これらの意見を十分に尊重して、対策を検討する必要があります。教育委員会としても、留意事項を挙げられていますが、その他留意すべき点等、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>樺原市内の公立小学校の現状を確認すると、今議論している白樫校区の話だけでなく、他校でも小規模化が進んでいる状況にあります。このようななか、当審議会としても、いろいろな案を議論する必要があると思います。</p> <p>香久山小学校や新沢小学校など、国が示す教育条件に当てはまらない学校については、統合だけの話でなくて、今後どうするかという議論を進めていく必要があるかと思います。従って、白樫南北小学校の再編だけではなく、他の学校についてもよりよい学校環境が整備できるよう、広い視野で方向性を探っていく必要があると思います。</p>

<p>会長</p>	<p>当審議会は、小規模化が一番進んでいる白樫南北小学校の再編について、地元の方の意見も聞きながら議論を進めており、第1期実施計画として再編方針を確定させることが今回の目的となっています。当該2校以外にも小規模化が進んでいる学校もあります。それらについても引き続き、再編を進めていく必要がありますが、その際には、今回検討した内容を参考にしながら、順次、再編案を検討していくこととなります。</p>
<p>委員</p>	<p>国が示す学習指導要領に沿って樫原市内の学校教育が運営されている中、この白樫南北小学校の統合が今後の樫原市の小学校教育のモデルになるよう進めていく必要があると思います。</p> <p>そのようななか、子どもの立場に立ってみると、令和6年度に突然2つの学校が1つになって、新しい環境が訪れるので、統合による不安を少しでも解消するためにも、段階的・試験的に進めていくことも手段の一つではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>2校の学校の先生たちも、統合に向けた準備を進めており、例えば、郷土学習の時間を2校一緒に学習するなどの交流を行っています。令和6年度の統合に向けて、今後はさらに範囲を広げて児童同士・先生同士の交流を図っていきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>教職員間の交流は、仕事の延長線上であると思うので、調整できるかと思いますが、一方で子どもたちは、新しいクラスや学校生活の中で、スムーズに馴染んでいける形を考えるべきだと思います。教職員についても、突然新しい先生が配置される可能性もある中、周りの保護者も含め、子どもたちに事前に受け入れやすい体制を取っておくことで、アンケートに寄せられているような不安材料を解消できるのではないかと考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>学校統合は、ある一定の期限をもって実行していくということは避けられないことです。ただ、それまでに統合する相手方との交流をいかに図っていくか、ということを加味しながら、これからの2年間、統合準備委員会でしっかり議論して進めたいと思います。</p> <p>また、樫原市の今後の人口減少が進む中、子どもたちの教育環境と、望ましい教育の在り方から、学校再編は避けられないという考え方の元、この3年間ほど議論を重ねてこられ、1つの再編案が纏められたと理解しています。</p> <p>今後、どのように再編を進めていくのかは、これからの課題であると思いますが、どうか、再編される学校の子どもたちにとって、よりよい学校となるように、進めたいと思います。</p>

委員	<p>令和6年度の統合時には、現在の1年生・2年生・3年生が対象となります。今の年齢から言いますと、統合に関する知識も浅いと思いますので、どうか、子どもたちの目線で進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>資料には、まちづくりの観点で別途協議していく内容が記載されていますが、別途協議して、学校統合の話ばかりが先行してしまわないよう進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>学校単位で構成されている各種団体との協議についても、令和6年度の学校統合までに議論を重ねていく必要があると考えています。したがって、統合に伴う学校運営の議論と直接的でないという意味で、別途と記載していますが、スケジュール的には学校運営の協議と同時並行で検討していかなければならないと認識しております。</p>
委員	<p>自治会の立場としては、幼稚園、小学校、中学校を中心として、まちづくりを進めています。白檀地区のまちづくりについても、幼稚園、小学校、中学校を中心としたまちづくりを考えておられますか。</p> <p>また、今後は、他の地区でも再編の議論を行っていく必要があると思いますが、その際には、生活圏の違いや地域性を考慮した学校づくりやまちづくりにつなげていただけるのでしょうか。地域には、小学校校区を中心に協議会が複数あります。それらについても今後協議をしていただけるということですが、その辺の考え方を教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>学校というのは、地域の中心であり、学校を中心に地域のまちづくりが展開されていると認識しています。今後、他の学校区においても小規模化が進んでいくと予測される中、今後の再編については、いろんなケースを総合的に勘案して検討していく必要があると考えています。近隣の学校との統合だけでなく、まちづくりという視点からは小中一貫校についても検討していく必要があると考えています。いずれにしましても、今後、どのような再編を進めていくのかについては、地域の方とも相談しながら、検討していきたいと考えています。</p>
事務局	<p>平成31年3月に策定した教育施設再配置基本方針では、再配置の組合せを記載していますが、これはあくまで再編シミュレーション上の数値であります。実際には、各地域それぞれの歴史があり、成り立ちも違っている中、どこの地域の児童数が減少したから、こことここを一緒にしようというような乱暴な考え方で再編することはそぐわないと認識しています。従って、事務局としても、実際その地域にお住みになられている方々の将来を見据えたまちづくりを考慮した学校再編が必要と考えています。</p> <p>白檀の再編だけで議論が終わることなく、今後も学校施設の再配置は続くことに</p>

	<p>なりますので、まちの成り立ち、生活圏の違いも含めた検討を並行して進めていきたいと考えています。</p> <p>議事 3) 今後の検討スケジュールについて</p>
事務局	<p>資料説明</p> <p>【資料 04_今後の検討スケジュールについて】</p>
会長	<p>事務局から説明がありましたとおり、元々、本審議会は、第1期の実施計画に関する事項として、白檀南北小学校の再編を取り纏めるとともに、鴨公・香久山・晩成小学校の再編についても、再編に伴う課題整理を検討する予定をしていました。しかし、昨今の新型コロナウイルスの影響で、審議が長期化しましたので、今回の諮問事項に対する審議は次回の第5回審議会を終了とさせていただき、鴨公・香久山・晩成小学校の再編については、第2期実施計画で検討としたいという提案でした。そのように変更させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>鴨公、香久山、晩成小学校の再編計画は第2期で検討したいということは理解しましたが、新沢小学校は第2期の対象とならないのですか。</p>
事務局	<p>第2期実施計画では、鴨公・香久山・晩成小学校の再編を検討し、その後、新沢小学校等についても再編を検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
会長	<p>それでは、鴨公、香久山、晩成小学校については、第2期実施計画で検討することに变更してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>結構です。</p>
会長	<p>新型コロナウイルスの影響で、期間が延びてしまったことはやむを得ない措置かと思えます。ご理解いただきありがとうございます。それでは進行を司会にお返しします。</p>
4. 閉会 事務局	<p>第5回審議会の開催は、10月下旬ごろを予定しています。各委員には後日日程調整の連絡をさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第4回検討審議会を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">《終了》</p>